

まちづくり活動計画書

1 助成を受けようとするまちづくり活動について

団 体 名	名古屋水域研究会	
ま ち づ くり 活 動 名	舟遊びによる水辺活性化 (名古屋近傍の治水利水、交通物流、産業遺産、まちづくりと河川水域との関わりについて多様な調査研究を行う。)	
活 動 地 域	名古屋市内の河川や周辺水域	
活 動 の 背 景	現在年間1.7億人が往来する東海道。最大の宿場町「宮」と「桑名」は東海道唯一の海路「七里の渡し」で結ばれていた。 東海道最大の宿場町「宮」と「桑名」を結ぶ唯一の海路「七里の渡し」は愛好者が多いが、名古屋駅・市街地からの利便性が不足している。	
目的・目標	<p>■目的 市街地から気軽に利用可能な舟運遺構の活用(堀川) 名古屋市・周辺水域の就航可能性具体的検討</p> <p>■目標 舟運遺構からの乗下船体験の継続 宮の渡しHP等での希望者への案内</p> <p>■成果 舟運・水辺利用の促進、街道愛好家への情報提供</p>	
活 動 内 容	<p>R2 実施済</p> <ul style="list-style-type: none"> ・港湾、河川管理者、西区まちづくり団体のヒアリング ・堀川の舟運遺構での乗下船実験、綱取り講習(乗降機能・安全確認) ・舟運遺構の現状・保全状況調査(所有者の保全意向確認) <p>R3 実施済</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業者(舟運)へのヒアリング ・堀川の舟運遺構と、周辺での乗下船体験 ・庄内川での乗下船実験(安全確認) ・堀川の舟運遺構(木挽町通) 名古屋市地域建造物資産への登録完了 ・堀川の舟運遺構(木挽町通)の清掃、伐採、土砂除去 <p>R4 計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・堀川、庄内川、宮の渡しを通じたの運航実験 ・新川での可航調査(正色学区まちづくりの支援) ・堀川の舟運遺構の清掃、伐採、土砂除去 五条橋への通路確保 ・堀川の舟運遺構(木挽町通)からの乗船案内HP作成 ・堀川の舟運遺構(山王)保全状況調査(所有者の保全意向確認) <p>R5～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・堀川の舟運遺構(木挽町通)の清掃、土砂除去、保全活用 	
活 動 予 定 期	R2年7月～ R6年3月	
助成金交付申請額	100,000 円	※1回目(上限5万円) ※2回目、3回目(上限10万円)

2 まちづくり活動の視点

以下の視点で活動内容についてご記入ください。

<p>審査基準① 必要性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に根ざしたまちづくり活動内容か ・自分たちの住んでいる地域を住みよい環境にする活動か ・活動の実施にあたって、まちづくり活動助成金が必要な活動か ・活動メンバーのみの趣味や仲間づくりではなく、多くの人に理解や共感が得られる活動か
<p>(活動の必要性について、上記観点から分かりやすくご記入下さい。)</p> <p>堀川まちネットなどの地元関係者の清掃などもあり、宮の渡しは（毎年堀川まちネットが催行）維持されているが現在は常設の渡し舟はない。街道愛好家は東海道唯一の海路を気軽に楽しめないという声が多く、堀川は名古屋駅から至近にありながら、木曾谷から桑名経由で名古屋城下に堀川で運ばれた歴史も感じてもらえず観光資源としてもったいない。</p> <p>木造で再建する名古屋城には堀川を使った材木が使われないのは悲しい。堀川にある舟運遺構は消失しつつあり乗下船機能など具体的な接岸乗船等が長年行われておらず、備船による試乗等が必要である。</p>	
<p>審査基準② 実現性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・活動内容が具体的にしているか ・活動内容の資金計画などは妥当か ・人員や規模などは妥当か
<p>(活動の実現性について、上記観点から分かりやすくご記入下さい。)</p> <p>舟運遺構(木挽町通)についてR2に接岸乗下船を、R3は桜橋⇄舟運遺構⇄巾下橋での周遊実験、庄内川松蔭・大当郎での接岸乗下船、「川に向けた扉と乗下船機能を残したい」所有者に名古屋市の制度を紹介して建物を地域建造物遺産に登録した。R4のGWには既存事業者がオープンデッキ船を朝日橋納屋橋間で運航しており気軽に川を楽しむことへの波及効果を感じた。引き続き堀川、庄内川(中川区・港区)の舟運遺構への航行実験のほか、堀川に残る唯一のデリッククレーン所有者の意向確認を行う。</p> <p>堀川河口水門近くの臨港線可動橋など本来ならば動態保存されるべき施設が静態保存という名目で放置状況のまま状態が悪化しており公共による近代産業遺産の動態保存の必要性も喚起したい。</p>	
<p>審査基準③ 発展性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の活動の発展にむけての視点や計画があるか ・活動実施後に、地域のまちづくり活動にどのような波及効果を及ぼせるか
<p>(活動の発展性について、上記観点から分かりやすくご記入ください。)</p> <p>堀川など水域を軸として、名古屋駅や名古屋城、円頓寺、納屋橋など堀川周辺の拠点と、熱田、港の結びつき、伊勢神宮信仰など広域な広がりを持っている。全国の街道文化愛好者にもHP発信浸透することで新しい名古屋の観光資源を増加できる。特に舟運遺構の活用、歴史的土木施設でもある堀川ほかの河川も併せて舟めぐりすることで、名古屋市都市計画、社会資本ストックの重要性への理解が深まる。水辺の繋がりを軸にまちづくり団体と一体的な情報共有、催事運営、コンソーシアム化もできる。</p>	

3 活動にあたり他団体(町内会、自治会他)、企業、行政の部署など協力する又は調整を図る必要がある場合には、その名称と内容を記入してください。既に連絡等を取っている場合にはその日付も記入してください。

名 称	内 容
堀川まちネット/あつた宮宿会 ゴンドラと堀川水辺を守る会 名古屋堀川ライオンズクラブ 水辺とまちの入口研究所 名古屋ボート協議会 木曾川グレンデ利用者会議 桑名市観光協会 河川管理者(国県市)・港湾管理者(名管)	試験航行の実施日程周知、運営協力

※第2号様式は3ページ以内でご記入ください。用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

まちづくり活動の実施スケジュール

- ・活動の実施日だけでなく、それに向けた準備（団体の打合せ、広報）についても具体的に記入してください。
- ・1ページにおさまるように記入してください。

年	月	活動項目	活動内容
	4	現地調査 打合せ	堀川、庄内川、新川
	5	整備活動 現地調査	堀川（沖正商店岸壁） 庄内川（松蔭・大当郎） 新川（両郡橋）
	6	整備活動 打合せ・届け出	試験航行 河川一時作業願
	7	整備活動 現地調査	堀川（沖正商店岸壁） 堀川（デリッククレーン）
	8	整備活動 HP検討 体験航行	堀川（沖正商店岸壁） HP作成
	9	整備活動 打合せ・届け出 資料作成	堀川（沖正商店岸壁）、 河川一時作業願 体験航行の案内広報
	10	体験航行 （堀川～庄内川）	試験航行
	11	体験航行 （堀川～庄内川）	予備日
	12		課題抽出 次年度企画確認
	1	とりまとめ	反省会 次年度企画の確認
	2	とりまとめ提出	
	3	次年度計画の検討	次年度活動計画の決定

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

まちづくり活動の予算書

1 支出

計画書の活動における支出（予算）をご記入ください。

	費目 手引きの費目を参照	活動項目	内訳・算出根拠	金額 (円)
まちづくり活動助成金（申請金額） ※活動経費の内、助成対象となる経費が対象です。 ※上限金額：1回目は5万円、2回目、3回目は10万円				100,000円
活動経費の内訳	謝金	現地立合 説明	倉庫 現地立合 説明謝金	5,000
	物品費	清掃用具 船具	清掃用具、船具、作業手袋等 いすゞ 1品54円以下	10,000
	賃借費	チャーター船	12名 船頭付き 可航確認 7月または9月 体験運航 10月	70,000
	印刷費	印刷 HP作成	コピー代、電子ファイル作成 看板、案内資料作成	30,000
	消耗品費	ヒアリング用品	用紙等、ボールペン、バインダー・防水ケ-ス、便箋封筒等	3,000
	通信費	事務連絡	宅急便、切手等	2,000
支出合計				120,000円

※1ページにおさまるよう記入してください。用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。